



2013年
松屋銀座 リニューアルに伴う
エントランス装飾



2003年・2006年
雑誌『花時間』にて発表
日本古来の「折方」「水引」を取り入れたアレンジ

華にしたが 遵う

いけばなと アートの狭間で

● 講演 中村 俊月
(華道相阿彌流師範)

● 司会 二本柳 啓文
(英語科講師)

司会からのメッセージ

現代の最先端に位置する華道家をお招きした。ただし、今回は美しく生けられた花を愛でるだけの会ではない。この中村俊月先生、経済学部入学から10年経つか経たないかのうちに、パリコレで花を生けるところまで駆け抜けておられる。その折々の緊張感、人との出会い、そして何といても華に対する思いを語っていただく。何かにつけて閉塞感に襲われがちな今日この頃だが、俊月先生から生きることを前向きに捉える「元氣」を分けていただくのではないか。

もちろん、その至芸の一端も見せていただけるはずだ。(二本柳啓文)

生花は花を生くるにあらず、心を生くるなり。
花を生くるにあたり、礼のこままつるべし。

この教えに象徴されるいけばな・500年の伝統を誇る華道相阿彌流(そうあみりゅう)と出会い、一気に花の魅力に取り憑かれました。

その後一心不乱に花の道を進み続け、花を仕事にできるよにまでなりました。

いけばなを最初に教えてくれた先生、花の名前も分からないまま入社した花屋の先輩、パリ行きを勧めてくれた友人、フランス語もできないのに雇ってくれたパリの花屋のボス・・・数えきれない人々に支えられ、そして何より花に助けられ今の私があります。

「ボンジュール」しか言えないまま飛び込んだパリ生活、パンすらもともに買えなかった私がその3ヶ月後にはパリコレの舞台を花で飾ることに。

かわいだけが花じゃない！花を通して学んだ「人生のスイッチ」をお話します。

講演者プロフィール

1975年横浜生まれ。
華道相阿彌流師範。私立米光学園高等学校卒業後、上智大学経済学部経済学科に入学。在学中に「いけばな」と出会い、花の道を志す。大学卒業後、東京・六本木の生花店に就職。5年間の花屋修行を終え、フランス・パリへ。パリコレの装飾や現代アートにまで高めた新しいいけばなの発表等多岐にわたる活動後、日本に拠点を移す。

現在、東京・白金にアトリエを構え、百貨店・ファッションメゾン・レストラン、テレビ局等多くの顧客を抱え、その大胆で繊細な花の評価は非常に高い。



2008年
伊勢丹新宿店本館
三越伊勢丹合併に伴う「誕生祭」

11月2日(水) 17:30~19:00
町田校 401教室

入場無料
申込不要

〒194-0021 町田市中町 1-18-6
☎ 0120-198650
●小田急小田原線町田駅北口より徒歩3分
●JR 横浜線町田駅北口より徒歩7分

